

読 元

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響 音

キターッ! 過激でスリリング。 踊りたくなるほどエキサイティング!

ドレスデンの楽団のための協奏曲
VIVALDI: Concerto in G minor "Per l'orchestra di Dresda", RV577

ヴィヴァルディ:

ト短調 RV577

マンドリン協奏曲
VIVALDI: Mandolin Concerto in C major, RV425

ヴィヴァルディ:

ハ長調 RV425

J. S. BACH: Mandolin Concerto in D minor, BWV1052

J.S.バッハ:

二短調 BWV1052

リコーダー協奏曲
VIVALDI: Recorder Concerto in C major, RV443

ヴィヴァルディ:

ハ長調 RV443

ハイドン:
HAYDN: Symphony No. 100 in G major "Military"

ハイドン:

ト長調 「軍隊」

アヴィ・アヴィタル
AVI AVITAL Mandolin

マンドリン

マンドリンの概念を変える脅威の超絶テクニック!
世界で注目を浴びる“マンドリン界のプリンス”



©Harald Hoffmann



指揮&リコーダー
GIOVANNI ANTONINI Conductor & Recorder
“イル・ジャルディーノ・アルモニコ”の音楽監督を務め、
ベルリン・フィルやシカゴ響などに共演を重ねる鬼才

読売日本交響楽団 第211回 土曜マチネーシリーズ
10.20 2018

Saturday Matinée Series No. 211 / Sat. 20th Oct. 2018 14:00

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥4,000

10.20 2018

Saturday Matinée Series No. 211 / Sat. 20th Oct. 2018 14:00

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥4,000

10.21 2018

Sunday Matinée Series No. 211 / Sun. 21st Oct. 2018 14:00

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥4,000

東京芸術劇場コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre

読響チケットセンター

0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場(公益財團法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

平成30年度(第73回)文化庁芸術祭協賛公演

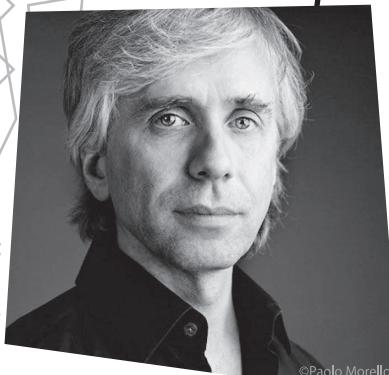
冴えわたる二人のカリスマ性、 スリリングな休日の午後。 鬼才がリコーダーを披露し、 “マンドリンのプリンス”が魅せる！

1990年代、イタリアの鬼才アントニーニ率いる“イル・ジャルディーノ・アルモニコ”は、過激な鋭角系古楽アンサンブルとして、バロックや古典派音楽に“革命”を起こした。従来の“優雅で美しい”というイメージを一新させたのだ。エッジが鋭く立ち、大胆にメリハリが効いていて、エキサイティングで刺激的な音楽は、多くの人を驚かせ、一世を風靡した。その後、アントニーニは“イル・ジャル”の活動を続けながら、ベルリン・フィル、シカゴ響といった一流のモダンオーケストラにも客演を重ね、確かな時代考証にもとづきながら、激烈ともいえるダイナミックな演奏で世界の聴衆を魅了している。そして今回、待望の読響への初登場が実現した。ヴィヴァルディ、J.S.バッハ、ハイドン—イタリア古楽界の鬼才アントニーニが読響と、どんな化学反応を起こし、作品の新たな可能性を切り拓くのか、大きな注目を集めている。

メインに取り上げるのは、トルコ軍楽を思わせる打楽器やトランペットがユニークに使用されるハイドン交響曲第100番「軍隊」。歯切れ良い鮮烈なリズムを際立たせ、澆刺とした躍動感あふれる演奏で会場を沸かせるだろう。タクトを振るだけでなく、ヴィヴァルディではリコーダーも披露する。リコーダーが最も華やかに活躍し、多くの協奏曲が書かれた時代の傑作。きらびやかな音色は刺激的ですらあり、当時の人々がその音色に心を躍らせていたことが、彼の演奏を聽けばわかるはずだ。

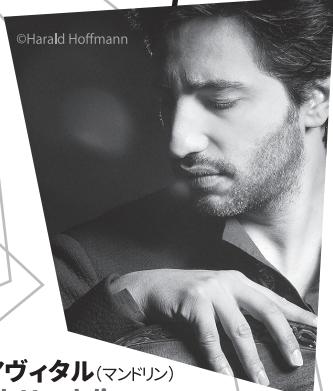
前半では“マンドリンのプリンス”アヴィタルが登場。2010年にマンドリン奏者として史上初のグラミー賞にノミネートされ、ニューヨーク・タイムズ紙において「絶妙にセンシティブな演奏」「驚くほど素晴らしい指捌き」と絶賛された実力派が、二つの協奏曲で共演する。一つはマンドリンの優美な音色を存分に活かしたヴィヴァルディの作品。もう一つは、もともとはチェンバロのために書かれたJ.S.バッハの協奏曲。いずれも今年6月、アントニーニ指揮のシカゴ響でも披露しており、息のあった演奏に期待が高まる。マンドリンの概念を覆す超絶技巧にご注目を。

演奏会はヴィヴァルディ「ドレスデンの楽団のための協奏曲」で軽快に開幕。驚きと新たな発見に満ちた、スリリングな午後をお過ごしいただきたい。



ジョヴァンニ・アントニーニ(指揮&リコーダー)
Giovanni Antonini, Conductor & Recorder

バロック音楽を中心に、斬新な演奏で注目を浴びる古楽界の鬼才。現在、モーツアルテウム管とバーゼル室内管の首席客演指揮者を務める。これまでベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、シカゴ響、ベルリン・コンツェルトハウス管などに客演しているほか、オペラでもミラノ・スカラ座、チューリヒ歌劇場、ザルツブルク音楽祭などに招かれている。自ら創設した古楽団体“イル・ジャルディーノ・アルモニコ”では指揮者としてのみならず、リコーダー、フラウト、トラヴェルソ奏者としても活躍。ハイドンの生誕300周年に向け、その全交響曲を録音するプロジェクト「ハイドン2032」を進行中。



アヴィ・アヴィタル(マンドリン)
Avi Avital, Mandolin

卓越したカリスマ性と技巧で世界的に活躍する“マンドリンのプリンス”。「絶妙にセンシティブな演奏」「驚くほど素晴らしい指捌き」とニューヨーク・タイムズ紙に絶賛され、2010年にはマンドリン奏者として初めてグラミー賞を受賞した。1978年イスラエル生まれ。これまでにメータ・ヴァンスカ、アントニーニ、ナガノらの指揮で、シカゴ響、ベルリン・ドイツ響、チューリヒトーンハレ管、イスラエル・フィル、BBC響などと共演しているほか、ザルツブルクをはじめとする多数の音楽祭にも出演。グラモフォンと専属契約を結び、多くの録音をリリースし、エコー・クラシック賞を受賞するなどいずれも好評を博している。

読売日本交響楽団 第211回 土曜マチネーシリーズ

2018年 10月 20日(土)14時開演
S ¥7,500/A ¥5,500/B ¥4,500/C ¥4,000

読売日本交響楽団 第211回 日曜マチネーシリーズ

2018年 10月 21日(日)14時開演
S ¥7,500/A ¥5,500/B ¥4,500/C ¥4,000

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可 / チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296